

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.
106
2014.4.19

四極山新橋

二條西宮大徳と公福

あつみまは次継りやまろ

あつみの山

あつみをつるあつ

あつみみろり

こも風

あつみの山新のゆれ

あつみ

四極山

彩石

あつみやまろ

あつみ

あつみ

四極山

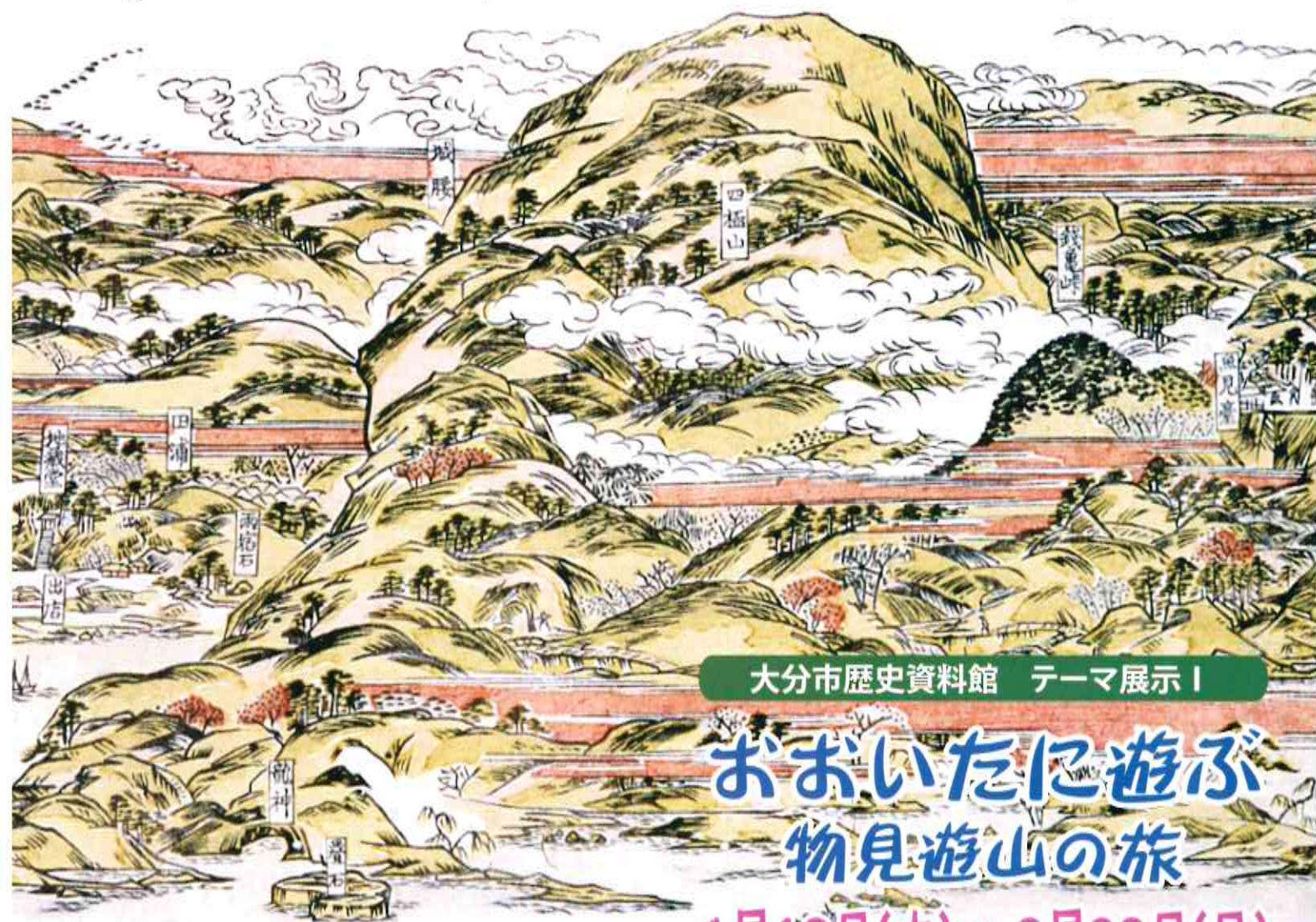
守覚

あつみの山風をたつ

あつみの山

あつみの山

あつみの山



大分市歴史資料館 テーマ展示！

おおいだに遊ぶ
物見遊山の旅

4月19日(土)～6月29日(日)

高崎山(四極山)の様子 (「杵築府内間山水図」より)

大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅰ 会期：4月19日(土)～6月29日(日)

「おおいだに遊ぶー物見遊山の旅」

江戸時代の庶民にとって長期にわたって村や町を離れる旅は、「お伊勢参り」に代表される信仰を目的とした寺社参詣や湯治・商いなどに限って許されていました。当時人々は、こうした限られた旅の機会を最大限に利用し、途中の名所旧跡や名物をめぐる物見遊山の旅を楽しんだといひます。また、そうした多くの旅人の利便を図るために、様々な旅の案内書も作られました。

本テーマ展では、大分にまつわる紀行文・絵図・出版物などを通して、旅人を誘った当地の観光の魅力を紹介します。

全国に知られた「濱之市」

大岡普斎が享保12年(1727)に著した『画典通考』という本の中に、琵琶湖や紀州和歌浦などと並んで豊後府内の「濱之市」のことが紹介されています。この本によると、濱の市は毎年8月14日に行われる由原八幡宮の放生会の祭りで神輿が生石の浜の「浮殿」に留まる期間に浜に立てられた市で、そこには西国や北国からも廻船が絶え間なく訪れ、商いが盛んに行われたとあります。またその人ごみは、人や荷車が身動きできないほどであるとも記されています。そして濱の市が、このように遠近から多くの人が集まり、広く商いが行われた要因を、府内藩主による花火・芝居の興行の許可にあったと記しています。市で催された花火や芝居が、濱の市の魅力と賑わいの創出に一役買っていたことがうかがえます。



『画典通考』



濱の市の花火の様子（「御城下絵図」より）

豊後の名所に数えられた由原八幡宮と高崎山

杵築城下から府内城下までの別府湾岸を描いた木版画の「杵築府内間山水図」には、「四極山」とも呼ばれた高崎山や由原八幡宮に関する貴人・歌人たちの和歌や俳句が記されています。江戸時代の「名所」といわれる場所では、このような貴人や著名な歌人・俳人によって歌や句が詠まれており、同様に歌題や句題の対象となった高崎山や由原八幡宮は当時豊後の名所の一つであったと考えられます。

この山水図の見返しに記された書付によれば、同図は本来10枚1組で売られていたものとあり、詳細な描写や400を超える地名・寺社・旧跡などの記載から、そうした地名等の付記の多い府内城下や別府近郊の案内図としても利用されたものとみられます。



由原八幡宮の界限の様子（「杵築府内間山水図」より）

豊後路を案内した「豊後国細見絵図」

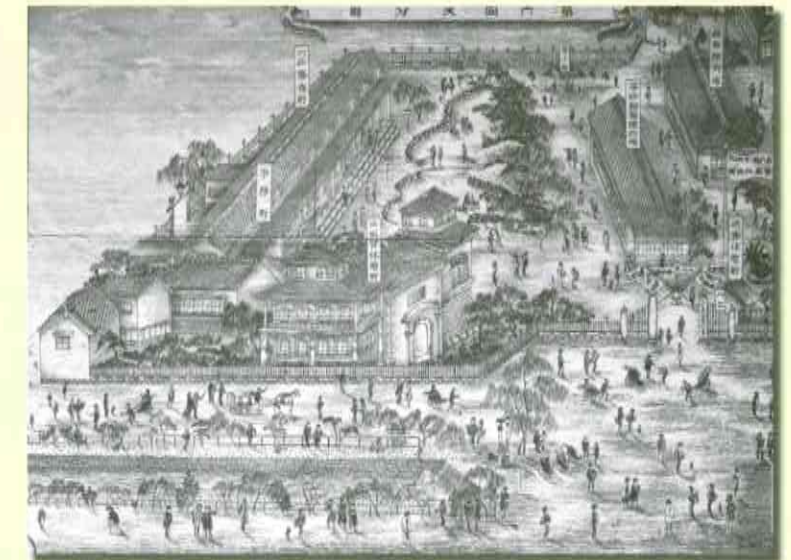
天保13年(1842)に日田在住の「滴々軒浩水」が中心となり、京都で製版、大坂で出版された豊後国の絵図です。本図は、滴々軒浩水の緒言によると、家業に忙しく自分の生まれた国を見ずに一生を終える多くの庶民のために、「豊後国志」や延宝・元禄の大絵図をもとに出版したものとあります。余白には郡ごとの石高・村数をはじめ、「神社仏閣産物」、また「繁盛の地」・「温泉場」・「市（祭礼市）」なども書き込まれています。大分郡でみると、神社・仏閣では由原八幡宮・西寒多神社・万寿寺・国分寺・霊山寺・金剛宝戒寺の名前が記され、産物では府内の醋・府内引のべ饅頭・萩原塩・高田の牛蒡・家嶋の木の葉かき・神崎の甘鯛・同尻川（大分川）の鮎・府中川はぜ・駄の原釜・三佐毛綿・三佐冬常の刀劔・高田の刀劔・郡中七嶋筵が紹介されています。また、繁盛の地として鶴崎・三佐・萩原・乙津・戸次市が挙げられ、市では府内浜の市・鶴崎劔宮市の名前が開催月とともに記されています。本図は、折り畳むと約10×15cmの大きさとなり、実際に携帯できるようになっており、当時豊後路を物見遊山する者にとって便利な案内書となっています。



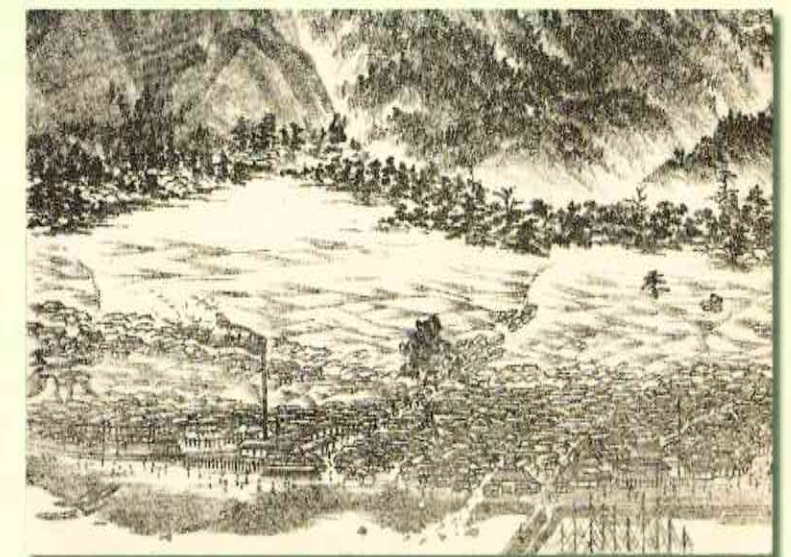
豊後国細見絵図

明治時代の大分の名所

明治時代の大分市街地を描いた「大分町図」によると、旧府内城下町の外堀と中堀の一部が埋められ、水路として残された西側の中堀跡に北から堀川橋・荷揚橋・大分橋（碩田橋）が架けられています。図中の説明書によると、水路の両岸には桜木が植えられ、春は桜花、夏は吹きよせる冷風、秋は輝く月、冬は降る雪と、四季を通じて同地（現中央通り）の風景は人目を喜ばせたとあります。その県都大分町から全国屈指の温泉場別府を結ぶ路面電車が明治33年(1900)、九州で初めて走りました。文明開化の象徴ともいべき路面電車が、美しい別府湾の海岸線を走る光景は、当時大分の風物詩の一つであったといひます。明治35年に印刷発行された「豊後温泉 別府全景」によると、別府町には「不老之湯」・「田之湯」・「高札之湯」・「楠湯」・「霊潮泉」・「竹瓦之湯」・「朝見温泉」・「永石之湯」の著名な湯があり、春の浴客は3000人を超えるとあります。また、旅館は150余戸を数え、このうち二、三の大旅館では西洋料理の設備があり、外国人の宿泊にも便利であると記されています。別府築港には大阪・神戸・愛媛・香川・宮崎等を結ぶ定期汽船が毎日航海し、また大分・別府間を路面電車や国道が走るなど、全国の温泉の中でも交通の便利な温泉場であると案内されています。



西側中堀跡の様子（明治21年「九州八県連合共進会場図」より）



別府町の様子（明治35年「豊後温泉 別府全景」より）



「ななつ星」をみた後は「七重塔」を！



歴史資料館の最寄りの駅、JR久大本線「豊後国分駅」を「ななつ星in九州」が通過しています。

「ななつ星in九州」は、九州各地をめぐり、自然・食・温泉・歴史などを楽しむことを目的とした観光寝台列車で、昨年の10月から運行を開始しています。さまざまな九州の美しい土地をめぐり、時には列車を降りて観光し、また列車に戻る、いわゆる「クルーズ船」の列車版と言えます。列車の名称は、九州の7つの県(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)と、九州の主な7つの観光素材(自然・食・温泉・歴史文化・パワースポット・人情・列車)、そして7両編成の客車など「7」の数字にちなんで名付けられています。車両の外観はシックで高級感が漂い、内装には温もりのある木材や伊万里焼など日本の伝統的な素材が使用されるなど、「和」のクルーズをコンセプトとして制作されています。運行開始以降、この列車をひと目見ようと、鉄道ファンをはじめ多くの方が豊後国分駅周辺にも集まって来ています。

「ななつ星in九州」を見た後は、「7」の数字にちなんだ「豊後国分寺跡七重塔」の復元模型(1/10)のある館内にも足を運んでいただき、大分の歴史・文化に触れてみてください。

豊後国分駅通過時間

【金・日曜日】12:00頃
※2014年4～6、8～11月



歴史を学びに来た「たかもん」と豊後国分寺跡七重塔の模型

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館
但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日

■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。
◎入館時に受付で手帳を提示してください。

■交通機関 ・JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分
・大分バス[国分新町ゆき] 歴史資料館入口下車 徒歩5分
・大分自動車道 大分I.C・吉光I.Cよりともに約15分

発行日:平成26年4月19日

発行:大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880 FAX097-549-5766

※大分市ホームページの「観光・魅力」>「歴史・文化財」>「歴史・文化を学ぶ」>「大分市歴史資料館」も併せてご覧ください。

(<http://www.city.oita.oita.jp/>)

ふれあい歴史体験講座

定員 各回70名程度(先着順)
時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)



	実施日	内容	材料費	受付開始日
第2回	5月17日(土)	勾玉作り	200円	5月6日(火)
第3回	6月7日(土)	土笛作り	60円	5月20日(火)
第4回	6月28日(土)	管玉・丸玉作り	260円	6月6日(金)
第5回	7月5日(土)	七夕飾り作り	無料	6月20日(金)
第6回	7月26日(土)	土面作り	130円	7月4日(金)
第7回	8月16日(土)	土偶作り	180円	7月18日(金)

応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館:097-549-0880)

昔のおもちゃで遊ぼう

内容 歴史資料館隣の広い史跡公園で、竹馬・竹とんぼ・竹弓矢、コマなどの昔のおもちゃで、思いきり遊びます。体験当日は、手押し式消防ポン



プ体験を親子みんなで力を合わせて行います。一番力が加わった時は、現在の二階建ての家にも十分とどくほど、すごい勢いで放水できます。



日時 5月5日(月)【こどもの日】
9時30分～16時(15時受付終了)

料金 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

テーマ展示解説講座

内容 講座室でテーマ展示Ⅰ「おおいたに遊ぶー物見遊山の旅」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

日時 5月11日(日) 14時～15時30分

参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。